福祉×環境×資源

「さらなる可能性への挑戦」

リサイクル事業でスキルアップと工賃向上







注目プポイント★)ミ

かごしま障がい者共同受注セン ターが仲介した鹿児島市の委託 事業(リサイクル事業)で安定し た収益を確保

利用者の適性を考慮し、能力に 応じた適材適所への配置で得 意とする能力を高めることが でき作業効率アップ

コロナ禍の影響で回収される資 源量は増加しているが、作業の 特性上機械化が難しいため、増 員や作業時間の延長で対応

障害者就労センターみなよし 鹿児島市

指導員の配置

http://www.seikou-kk.com/

(鹿児島県鹿児島市)

株式会社誠晃

● 基本データ(令和3〈2021〉年11月現在)

〒891-1222

鹿児島県鹿児島市小野町5066

TEL 099-800-2139

開設年 平成27(2015)年

就労継続支援A型 (定員20人、現員25人)

主たる 障がい 利用者の平均年齢 43歳 福祉事業活動における 7人 鹿児島県鹿児島市

概 要

障害者就労センターみなよしは平成29(2017)年、電卓・携帯電話等 の小型家電回収・分別作業の実績が認められ、平成30(2018)年より、地 域の廃棄物回収業者が回収した蛍光灯、乾電池、スプレー缶を分別し破砕 機にかけて処理するリサイクル事業を行っています。

SELP Vision 2030







利用者数と活動日数(令和3年9月実績)

1日以上参加した利用者数 25人

活動日数

30日

参加した延べ人数

571人

利用者の所属 就労継続支援A型事業

開始までの経緯

障害者就労センターみなよしは以前、離島や警察学校、ダムなどの除草、河畔のゴミ撤去を 行っていました。平成29年に、鹿児島市から共同受注センター窓口を通じて、電卓・携帯電話 等の小型家電回収・分別作業の依頼がありました。その作業を受注後、同事業所の生産性の高 さと実績が鹿児島市に認められ、作業場までの距離も近いことから、翌年の平成30年に蛍光灯 や乾電池、スプレー缶を資源として出荷するリサイクル事業を開始しました。



鹿児島市北部清掃工場の建屋全景

セルプ×∞ 多分野連携実践集 セルプ×∞ 多分野連携実践集 55

具体的な取り組み

地域の廃棄物回収業者が回収した30トン程度の蛍光灯、乾電池、スプレー缶を分別し、破砕機にかけます。

リサイクル事業には、分別作業や破砕機の使用、フォークリフトの運転など多岐にわたる作業があります。どれも利用者と職員が一緒に作業します。

なお、危険があり注意が必要な破砕機やフォークリフトの取り扱いは鹿児島市に指導を受け、 扱いに慣れた利用者や職員が担当するそうです。

職員の役割

本事業に携わる職員の人数

7人

支援員

分別作業や破砕機、フォークリフトの使用等。 月1回の鹿児島市の担当者との情報共有

リサイクル事業は7人の支援員が、職種で役割を分けずに携わっています。職員全員が、利用者と一緒に蛍光灯やスプレー缶の分別や破砕等の業務を行っています。

職員は月に一度、鹿児島市の担当者と情報を共有します。その日に向けて、業務の進捗状況 や利用者の体調を確認しながら作業するといいます。



分別作業

生産設備・備品等

工場では破砕機、フォークリフト、工場扇 (大型の扇風機)、ミスト機を使用します。フォークリフト冷水機は、みなよしが独自財源で購入し、破砕機と工場扇は鹿児島市が準備しました。

工夫していること、心がけていること

^{綿密な} 情報共有



鹿児島市の担当者と利用者の体調や作業の進捗状況をつぶさに確認し、変化や気になることはすぐに連絡を取り合います。また、鹿児島市の職員、みなよしの職員と委託会社の関係者は、月に一度暑さ対策や感染対策の安全管理に関する会議を開き、情報を共有します。

暑さ対策と安全対策



暑さ対策には、工場扇とミスト散布を用います。適宜休憩時間 を設けながら作業を行い、作業板や手袋を必ず使用して安全のた めの対策を講じます。

危険が伴う破砕機やフォークリフトを使用する業務には、業務に関れた職員や利用者を配置し、できるだけ作業が安全に行われるよう工夫が凝らされています。



スプレー缶等の処理に使用する破砕機

課題と対応

課題 新型 =====対応 コロナウイルスの 影響

清潔な生活環境を保持するため各家庭の清掃量が増え頻度が上 がったことにより、リサイクル資源量が増加しました。みなよしは、 作業に向かう利用者を10%増員し、作業時間を5%増やして対応し ました。

新型コロナウイルスまん延の影響は、新たに気をつけなければな らないことを生み、作業手順が増えたといいます。それはリサイク ル資源の作業前保管期間を担保することでした。スプレー缶等が搬 入されてからウイルスが消滅するまでに72時間かかるため、一定の 保管を越えて作業を開始します。

家で過ごされる方が増えたことは、鍋物を食卓に乗せる機会も増 やし、スプレー缶の処理の需要も増えたそうです。

工賃の変動

みなよしは利用者がそれぞれ得意とする能力(作業)を高めることで作業効率を上げ、工賃 上昇をめざします。それは鹿児島市の信頼を獲得することにもつながりました。



反応・効果

利用者 の反応・効果

この事業で習得したことが、利用者の仕事に対する向上心、他の仕事に向 かうためのスキルアップに結びつきました。

職員 の反応・効果

利用者それぞれの個性に合う分野は何か、得意なことや集中できる作業 はどのようなことか。適材適所を押さえた利用者支援につながりました。

地域 の反応・効果

地域の障がいのある方がリサイクル事業に携わり、社会活動に関わると いうことに多くの方が実感を得たと聞いたそうです。

★ 展望・課題



みなよしは作業量を増やすため、破砕機の増設を検討して います。

他の工場内の分別作業もてがけ、リサイクル事業の拡充を 展望し、実践を積み重ねて、環境問題解消の重要性と障がい者 の参画、社会参加を訴えたいと考えています。

障害者就労支援センターみなよしの



令和2(2020)年1月に鹿児島市の認定を受け、みなよしは「かごしま SDGs推進パートナー」となりました。リサイクル事業以外にも、平成30 (2018) 年から生活困窮者等(障害者手帳を所有しないひきこもりや刑余 者など)の就労準備支援事業に取り組んでおり、困りごとがある人々が無 理なく社会活動に向き合うことができるよう支援しています。





58 セルプ×∞ 多分野連携実践集 セルプ×∞ 多分野連携実践集 59